

当日は、午前9時に訓練のためのサイレンを鳴らします。天候不順などのため中止になる場合は、午前7時に防災行政無線およびメール配信サービスでお知らせします。

いざという時、慌てないために 総合防災訓練

地震

9月3日(日) 午前9時発災 / メイン会場…栄小学校

今年の総合防災訓練は、栄小学校をメイン会場として、市内全域の指定避難所（各小・中学校）および福祉避難所の15会場で行います。
※荒天の場合は中止とし、午前7時に防災行政無線および羽村市メール配信サービスでお知らせします。

問合せ 防災安全課防災・危機管理係 ☎ 206



- 今年のメイン会場
栄小学校では
- 電気自動車などからの給電訓練
 - 陸上自衛隊などによる災害活動紹介
 - 福生消防署によるはしご車の搭乗体験（1組2人・先着20組）や、煙体験ハウス
 - ガス、電気、災害伝言ダイヤルなどに関する展示
 - 給水車による応急給水訓練
 - 建設防災協力会と羽村市まちづくり部による道路復旧訓練
- などを間近に見たり体験したりすることができます。

総合防災訓練に参加しよう

◆いざという時の自分のために
市民一人一人が、災害発生時に「自らの生命は自らが守る」ための行動を考え、いざという時に必要な防災知識を習得しましょう。

◆地域に暮らすみんなのために
大人だけではなく、子どもも訓練に参加して、地域全体の防災力を高めることが重要です。防災訓練への積極的な参加で、地域防災力のさらなる向上を図りましょう。

◆大切な家族のために
さまざまな状況を想定し、家族全員で訓練に参加しましょう。

訓練は次のように進めよう

①わが身の安全を確保
地震が起きたら、まずシェイクアウト※！丈夫なテーブルや机の下にもぐるなど「わが身」を守る行動が大切です。家族や職場でさまざまな状況を想定した訓練をしてください。

※シェイクアウトとは

- 地震発生時に
- (1)姿勢を低くする
 - (2)頭・体を守る
 - (3)揺れが収まるまでじっとする
- という3つの行動を取ることです。シンプルですが非常に重要な行動です。子どもから大人まで誰でもできる基本的な安全行動とされています。

④実災害を想定した避難訓練

避難指示が出たり、近隣で火災が起きた時など避難が必要な場合に備え、家族で避難経路や連絡方法を確認し、一時集合場所・避難所へ避難しましょう。

⑥外出先から帰れないことも

災害時の混乱を防止するため、むやみに移動を開始せず、職場や外出先に一定期間待機しましょう。安全確保後も、交通機関の混乱などから徒歩による帰宅が想定されます。普段から歩いて帰宅する経路を確認しておきましょう。

出前講座を活用しよう

市民主催の学習会などに、市職員や官公署職員などが講師として出向きます。

羽村市生涯学習まちづくり出前講座

- ▼地震 備えあれば憂いなし
 - ▼風水害 大雨・洪水・土砂災害
- 開催可能日時
午前9時～午後9時の間の2

東京防災学習セミナー

▼関東大震災100年出前講座
対象 町内会・自治会、市民
大学・ゼミやサークルの方
申込み 8月17日(木)～10月31日(火)に左の二次元コードから

③わが家の備えをチェック

訓練は毎年参加し、繰り返しすることで行動を覚えて、自身の防災行動力や、家族や近所の人との助け合いの防災意識を高めましょう。

★非常時の持ち物リスト★

- 食糧（飲料水などを含む）
- 常備薬や救急医療品など
- 現金（小銭も）や印鑑、通帳など
- 衣料品やタオル、寝袋など
- ナイフや缶切り、水筒など
- 懐中電灯やラジオ（予備の電池も）
- 携帯電話、モバイルバッテリー
- 粉ミルク、哺乳瓶、紙おむつ、生理用品など
- 感染予防グッズ

ペットを守るのは飼い主です

災害時、ペットを守ることができるのは飼い主です。
日頃から、ペットの身元表示をしっかりと行い、防災用品を用意しておきましょう。
避難所では、さまざまな人が共同生活を送るルールがあります。避難所の責任者の指示に従い、ケージに入れるなどして、決められた場所で飼い主が責任を持って、管理してください。

